

授業科目	基礎ゼミナール				
担当者	専任教員・他				(オムニバス)
実務経験者の概要					
学科名	理学療法学専攻	学 年	1 年	総単位数	2 単位
	作業療法学専攻	開講時期	通年	選択・必修	必修

■ 内 容

自分自身の療法士として将来像を具体化し、求められる態度、療法士としてのコミュニケーション技能、対象者の理解、リスク管理の概要、プレゼンテーション方法、学習への態度と学習方法などについて、講義とグループ活動を通して学ぶ。

■ 到達目標

1. 自分の将来像をイメージし、早期に大学生としての学習方法や学習に対する構えをつくることができる
2. 療法士として求められる態度・知識・技能を知り、一歩でも近づくための方向付けを行うことができる
3. 他者の意見を理解する能力、自分の考えを整理して表現する能力、情報を収集し整理する力、問題解決能力、コミュニケーション能力などを修得する
 - ①授業をしっかり聞いてノートがとれる
 - ②時間内で学んだことを図やテーマでまとめることができる
 - ③ディスカッションをして集団で考えをまとめることができる

■ 授業計画

- 第1回 プレイメントテスト（これまでの学習状況を確認しよう）
- 第2回 オリエンテーション（基礎ゼミについて、大学生活に関わる内容について、など）
- 第3回 ソーシャルネットサービスの利用時のマナーと防犯について学ぼう
- 第4回 違法薬物について学ぼう（薬物乱用防止講演会）
- 第5回 違法薬物について学ぼう（薬物乱用防止講演会）
- 第6回 現代社会と基礎経済を学ぼう
- 第7回 先輩セラピストの話を聞いてみよう
- 第8回 先輩セラピストの話を聞いてみよう（ディスカッション・まとめ）
- 第9回 ハラスメントについて学ぼう
- 第10回 療法士としてのリスク管理について学ぼう①
- 第11回 療法士としてのリスク管理について学ぼう②（一次救急救命法 AED の使用方法）
- 第12回 障がいのある当事者の話 1
- 第13回 障がいのある当事者の話 1（ディスカッション・まとめ）
- 第14回 障がいのある当事者の話 2
- 第15回 障がいのある当事者の話 2（ディスカッション・まとめ）
- 第16回 自分自身のマナーについて見直そう（マナーアップ研修）
- 第17回 自分自身のマナーについて見直そう（マナーアップ研修）
- 第18回 興味あるテーマについて調べよう
- 第19回 興味あるテーマについて調べよう
- 第20回 障がいのある当事者の話 3
- 第21回 障がいのある当事者の話 3（ディスカッション・まとめ）
- 第22回 障がいのある当事者の話 4
- 第23回 障がいのある当事者の話 4（ディスカッション・まとめ）
- 第24回 興味あるテーマについて調べてレポートしよう

- 第25回 興味あるテーマについて調べてレポートしよう
- 第26回 人権研修
- 第27回 人権研修（ディスカッション・まとめ）
- 第28回 国家試験問題を解いてみよう / 目指すセラピスト像となすべきこと ディスカッション
- 第29回 目指すセラピスト像となすべきこと 振り返りとディスカッション
- 第30回 目指すセラピスト像となすべきこと 振り返りとディスカッション

■ 評価方法

ノートの内容、整理された図やテーマの内容、ディスカッションへの参加態度等を毎回10点満点で採点し、最終評価とする。

そのため、欠席するとその日の成績が0点となるため注意すること。

また、基礎ゼミナールの資料集や、講義に必要な資料は持参すること。不良な学習態度（提出物の不備、必要な資料の準備不足など）は減点対象である。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

「次回の課題」が提示された場合には、取り組んで授業に臨むこと

特に、ディスカッションの前には、自分に考えをまとめておく（各回考えておくべき事項を伝えます）

各授業終了後には、リアクションペーパーの作成により、授業内容を振り返る

■ 教科書

■ 参考図書

■ 留意事項

積極的に参加し、取り組みましょう

講師の都合により日程を変更する可能性があります

授業に欠席した場合は、その日の評価は0点となります。

■ 講義受講にあたって